

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議にて、参加いただく地域の方が少なく、地域とのつながりが不十分である	地域で必要とされるグループホームの役割を明らかにし、地域の一部として活動をおこない、近隣住民の方に親しんで頂けるような施設を目指す。	運営推進会議に地域住民の方が、参加いただける様に調整する。また回覧板など、廻していただける様にお願いし、地域の活動などに参加して頂けるようにする。	12ヶ月
2	1	地域密着型サービスの役割やグループホームの理念について、職員へ説明をおこなうことが少ない。	グループホーム内の理念や考え方について職員や管理者を含めて意見交換をおこない、問題点や課題、理念における認識を十分に共有する。	日々のミーティングや引継ぎなどを通して、理念の説明をおこなう。また、理解しやすく、分かりやすい文言などに改め、定着を図る。またすべての職員が運営推進会議などへも参加できるように配慮する。	6ヶ月
3	35	夜間など人員配置が少ないときにおける、火災、災害への対応について困難がある。	少人数の勤務時においても、入居者の安全が確保できるような体制を構築する。	地域住民へ協力をお願いすることや、要救護者の確認、消防、防災訓練計画の見直しをおこない、安全確保の方法など再検討する。	12ヶ月
4	40	日々の食事が、施設からの提供側と、入居者の消費側で分かれてしまっており、入居者の意見や楽しみながらする食事などを、毎日の食事へ反映することが不十分である	入居者の「食」へのかかわりを積極的に支援し、消費することのみを、楽しみとするのではなく、食事までの一連の過程を支援して頂けるように考慮する。	入居者の意見をヒアリングし、外食や出前などで、希望に沿った、いつもと違う食事を楽しんでもらえるよう検討する。	12ヶ月
5	6	安全確保や人員配置から、入居者の自由な活動を支援することに、不十分な点がある。	入居者の自由な活動を尊重し、その人らしく、生きがいを感じられるような活動を、可能な限り支援してゆく。	ケース記録や、ミーティングを通じて、入居者にとっての生きがいを探り、活動の中に盛り込んでゆくことで、質の高い生活を送れるように支援してゆく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。